

科目名 Course Name	栄養指導実習Ⅱ Nutrition Education Practice II			ナンバリング No.	L3-002		
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	実験実習
担当者氏名	間庭 昭雄						
連絡方法	C-Learning で対応。非常勤講師室						
必修/選択	選択(栄養士養成課程必修)						
関連 DP	DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>栄養教育・栄養指導の基礎となる栄養情報を理解するとともに、ライフステージ・ライフスタイル別の個人指導や集団指導の実施方法を、各自のテーマにそって企画案から指導の展開、評価までを具体的に学習する。</p> <p>①栄養指導論等の講義によって得た知識と栄養指導技術を基礎として、栄養指導の実施に必要な知識および技能を実習により習得することができるようにする。</p> <p>②栄養指導論で習得した学問的知識を単なる知識として終わらせることなく、栄養教育・栄養指導の場に臨んで実践的に活用・展開ができるようにする。</p>						
授業の方法	「プレゼンテーションによる指導」「食育教材の作製」「食育掲示資料の作製」は個別・グループを併用しての実習。グループ討議や発表、媒体作成などを実施する。「対象者別の栄養教室」では、習得した知識や技能を活用し、栄養教育・栄養指導の実践力を身に付ける。1回の実習は2コマ連続で行う（合計30コマ）。						
学習成果	L01						
	L02	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育マネジメントシステム、すなわち栄養スクリーニング、栄養アセスメント、目標設定、栄養教育指導計画、栄養教育指導実施、評価、フィードバックの一連の過程を習得することができる。 ・個人及び集団における、実際に応じた栄養指導計画の立案と実施、評価の基本的な方法について、実習を通じて体得することができる。 					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	発表や食育教材作成では、それぞれの終了後に改善点等をフィードバックする。						
教科書/参考図書	<p>参考図書:「栄養指導論」(相川りゑ子編著・建帛社)「すぐわかる栄養指導実習」(田中ひさよ、熊谷秀子著・萌分書林)「糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版」(日本糖尿病学会)</p> <p>参考資料:「日本人の食事摂取基準(2020年版)」厚生労働省</p>						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●遅刻厳禁 ●授業中の飲食は禁止●スマートホンの使用は許可ある時のみ可 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安はおおむね各回90分とする。 						
担当教員の 実務経験	実務経験 間庭(職種:管理栄養士 職歴:17年) 栄養教育の指導では、病院、地域における集団指導経験を生かすことができる。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	グループ討議の場では積極的に自分の意見を述べる。不明な点があれば積極的に質問する		10		
レポート/作品	Sの提出物は「対象者が理解できるような内容であること。適切かつ正確な資料を用いていること。丁寧に作成されている。」である。		50		
発表	発表のSの評価は「対象者が理解できるような内容であること。適切かつ正確な資料を用いていること。誰もが聞き取れるように、明瞭に大きな声で発表する。」である。		40		

小テスト					
試験					
その他					
合 計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	学習の成果、学習方法、成績評価、授業の諸注意について・1 年次栄養指導論定期試験振り返り・3 分間スピーチの組み立て方、話し方の要点
	事前・事後学習	3 分スピーチの内容について考える。
2	授業内容	3 分間スピーチの原稿作成、発表、評価
	事前・事後学習	3 分間スピーチの自己評価と改善点についてまとめる。
3	授業内容	プレゼンテーション準備：PC (パワーポイントを利用した発表準備)
	事前・事後学習	個人活動：発表原稿を作成する。
4	授業内容	プレゼンテーション：PC (パワーポイントを利用した発表、評価)
	事前・事後学習	個人活動：評価を参考に改善点をまとめ提出する。 5 回目栄養教室の対象をどうするか考えておく。
5	授業内容	栄養教室の企画・立案・計画①：PC (対象者の決定。教室の目的・内容を考える)
	事前・事後学習	班活動・栄養教室に利用するスライド作成の準備をする。
6	授業内容	栄養教室の企画・立案・計画②：PC (教室の内容を考える)
	事前・事後学習	班活動・栄養教室に利用するスライド作成・発表準備をする。
7	授業内容	栄養教室の実施・評価：PC (栄養教室を実施し、評価に基づき、改善まで実施する)
	事前・事後学習	班活動・栄養教室の発表準備をする。
8	授業内容	栄養教室の評価・改善：PC (栄養教室を実施し、評価に基づき、改善まで実施する)
	事前・事後学習	班活動・栄養教室の振り返りを実施する。
9	授業内容	食育教材（食育リーフレット）の作成（テーマ設定・掲載内容の検討）
	事前・事後学習	個人活動：食育リーフレットのテーマを検討する。
10	授業内容	食育教材（食育リーフレット）の作製（発表（展示）・評価）
	事前・事後学習	個人活動：食育リーフレットを完成する。
11	授業内容	糖尿病食品交換表の使い方①(必要栄養量の算出)
	事前・事後学習	個別活動：糖尿病食品交換表に目をとおしておく。
12	授業内容	糖尿病食品交換表の使い方②(献立作成)
	事前・事後学習	個別活動:糖尿病食のレシピを調べておく。
13	授業内容	栄養教育媒体の計画・作成
	事前・事後学習	課題資料を読み込んでおく。
14	授業内容	栄養教育媒体を用いた栄養教育（媒体の作成と発表）
	事前・事後学習	媒体を発表できる形にまで仕上げ、発表の準備をしておく。
15	授業内容	栄養指導計画書の作成・栄養指導の実践(ロールプレイングなど)
	事前・事後学習	参考図書「栄養指導論」の栄養指導の方法と技術（5 章）・栄養指導の実際（6 章）を復習する。